属人区長のメッセージ(2023年9月13 日)

オプス・デイ属人区長は、 近々訪れるいくつかの祝日に ついての黙想を勧めると共 に、教皇様に提出する規約 修正案の準備のための作業 を、聖職者省と共に始めた とを報告します。

2023/09/13

愛する皆さんへ。イエスが私の子どもたちを守ってくださいますように!

明日祝う聖十字架称替の祝日は「ご 受難のおかげで、十字架は刑罰のし るしから勝利の旗印へと変わった。 十字架こそ救い主の紋章であり、 『そこにおいてこそ我らの救いと生 命、復活がある』| (聖ホセマリア 『十字架の道行』第3留、5番)こと を思い起こさせてくれます。この祝 日に際して、皆さんに十字架の神秘 をもう一度特別な注意をもって観想 することを提案します。十字架の神 秘において私たちは次のことを発見 します。「キリスト信者の自由は、 自分の思いのままに振舞うこととは まったく違います。キリスト信者の 自由とは、十字架上での犠牲に至る までご自身をささげたキリストに従 うことです。逆説的に思われるかも しれませんが、主は、ご自身の最高 の自由を十字架上で体験しました。

十字架は愛の頂点だからです。人びとはカルワリオ(されこうべ)で叫びました。『神の子なら、十字架から降りるがいい』。主はまさに、十字架上にとどまることによって、子としての自由を示しました。それはに入りのあわれみ深いみ心を完全に成し遂げるためでした」(ベネディクト十六世、「お告げの祈り」の言葉、2007年7月1日)。

めに来ました。ですから、天はオプス・デイ実現のため尽力しているという深い確信を持ちなさい」(『指針』1934年3月19日)。

先のアジア・オセアニア旅行、そし てその他の多くの地域からの便りを 通して、私は沢山の人々の、1928年 に地上での旅を始めた精神に忠実で ありたいという願いを改めて目の当 たりにしました。神が私たちに託さ れた任務において、超自然的な熱意 で一杯になりましょう。視野を狭め ないようにしよう。私たちはどこに いても(信仰における多くの兄弟姉 妹とともに)私たちのこの世界にお ける平和と喜びの種まき人(それは 主の平和と喜びです)になることが できます。

北半球における夏の休暇期間を終えて、聖職者省と共に、教皇様に提出する規約の変更案を作成するための 作業が始まっていることを、皆さん

に喜びを持って伝えます。祈りと、 希望に満ちた子としての信頼の態度 で、このプロセスに引き続き同伴し てください。メディアやソーシャ ル・ネットワーク上では、この件に 関する解釈は枚挙にいとまがなく、 皆さんからも多くの質問や懸念が寄 せられています。私たち皆のもので あるオプス・デイに対する皆さんの 愛情に感謝し、理解します。私たち が主から受け取った精神を、喜びを もって広めるために、これらの言及 を活用しましょう。前回の6月3日と 8月10日のメッセージ(再読される) ことをお勧めします)のように、聖 職者省が適切と判断した場合には、 この仕事の進捗状況について伝えま す。

10月初めに世界代表司教会議(シノドス)が始まります。この会議のために祈りましょう。それは教皇フランシスコが私たちに求めていることです。その間、10月4日から9日に、

私はポルトガルに滞在します。多くの人と出会うこの旅行に、皆さんが霊的に同伴してくれることを頼りにしています。皆さんにも支えられつ、良い仕事ができるよう、ファティマの聖母にゆだねます。そして皆さん全員を聖母の保護の下にゆだねます。

心からの愛情を込めた祝福を皆さん に送ります

皆さんのパドレ

フェルナンド

ローマ、2023年9月13日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-messeeji-20230913/(2025/11/24)